

長岡東部地区 市政懇談会

転作作物の再検討を

長岡小改築は4～5年後



市政全般について幅広く話し合った市政懇談会

公民館事業の一環として、市政懇談会が十一月十九日、四年ぶりに長岡東部地区で開かれました。地区公民館（藤中義繁館長）には地元から約三十人が出席。市からは小笠原市長、関係課長らが出席し地元の抱える問題や市政全般について幅広く、意見交換を行いました。

まず、藤中公民館長が「市政を知る機会として、今日には有意義な会としてほしい」とあいさつ。続いて市長が、市政全般について報告し、討議に入りました。

討議内容は

- 転作作物としてそば、牧草を作っても割に合わない。牧草は酪農家との契約が条件となっており、
- 自家用のたい肥にすることもできない。転作の内容を十分検討してほしい。
- 転作は収穫を前提としたものであり、奨励金をもらっている以上、原則としてルールは守ってもらわないと困る。
- 農業の規模拡大の壁は地価の高騰だ。そのため、貸借借契約による規模拡大はできない。国の制度だけでなく、市独自の農用地利用増進のための財政的処置もしてほしい。
- 貸借借契約が結ばれている農用地は六十で、県下的にみても少ない。その原因ははっきりしないが、作業の委託などが進み自分で管理できるなどがあると思う。
- 市の現状は、総農地の二割くらいだ。国が行っている農用地利用増進法による貸借借契約を結んだ場合に出されている奨励金に、市独自に更に付け足しをすることは、財政的に困難だ。また、全国的にも、そのような例はないと思う。
- 長岡小の改築はいつころに。



- 現在、校舎の改築が迫られている学校が六校、体育館がなかったり改築が必要なものが五校となっている。順位は老朽の度合いなどから五番目ぐらいになり、毎年二校のペースで改築すると二一三年後、体育館の改築も考えたと四一五年後になると思う。
- 非行問題に対する学校での取り組みについて伺いたい。
- 昨年に比べ補導件数は減少しているが、夜間徘徊など補導にかからないケースが出てきており、非行の潜在化が言われている。これなどは、家庭での教育をしっかりとっていただきたいと思う。
- いじめの問題は全国に広がっている。市内四中学校でも報告されているが、学年が進むにつれて多くなっているのが特徴だ。これは教師の力量が問われる問題であり、日常の言動からそのサインを見逃さず、早く発見し対応することに努めている。投書箱、日記を書かす、個別訪問などを行い、いじめを許さない、傍観者をなくす学級づくりを進めている。
- 地域によっては、ごみを指定袋

- で出していないところもあり、不平等がある。これを解消するために、無償でやったらどうか。
- 今年六月から大篠、後免、東崎西部地区で、指定袋を出すよう夜間指導し、またチラシや広報などでPRをしている。しかし、なかなか徹底できないこともあり、この十一月からは、まず大篠地区でごみの取り残しを始め、ほとんど指定外のは出なくなった。十二月以降は後免、長岡地区、そして年度内には全市を行う計画だ。
- 指定袋は、中村市はうちと同じ大きさで二十円、須崎市が四十円となっている。香南青組加入の町村にも、経費の面でも安くついで、統一できるように話を進めている。
- 岡豊山の県立歴史民俗資料館の進展具合は。長岡小には、たくさん民具が保存されているが、芸市や芸西村のように市独自で建設する計画はないか。
- 現在土地買収も済み、今年と来年発掘調査をし、六十二年度から工事にかかる予定と聞いている。確かに、本市にも貴重な民具もたくさんあるが、一部は県立歴史民俗資料館に展示することも考えている。総合的な文化会館の事も高いので、そういうものでも考えてみたい。

国府地区市政懇談会



工業団地化が決まり、移転地確保が急がれる比江山グラウンド

グラウンドの代替地

早急に確保を

国府地区でも十一月六日夜、地区公民館（乾常美館長）に地元住民約二十人が集まり、市政懇談会が開かれました。市からは小笠原市長らが出席し、前もって各地区でまとめた質問や要望に基づき、二時間にわたって話し合いました。

まず、市長が「比江山の処分について、地元皆さんの理解と協力をいただき感謝している。市政の柱として、財政再建、同和対策、空港問題の三つをあげて取り組んできたが、空港はほぼ完成し、新たに立地条件を生かした企業誘致と教育施設の充実を進めている。今日は、市政について理解していただくよい機会であり、きいたくない意見をお願いしたい」とあいさつし、話し合いに入りました。

討議内容は

- 比江山の工業団地化が進んでいるようだが、グラウンドの代替地の確保に、早い対応をお願いしたい。
- 工業団地の開発について、地元の皆さんには大変お世話になり感謝している。ミロク機械に売却を予定している場所は、グラウンドの南の現在スバルの配車センターに貸してあるところだ。そのため、

- 移動してもらわなければならないが、すぐにもいかなないので、暫定的にグラウンドに移ってもらうような計画もしている。
- 現在、グラウンドの代替地として比江をあたっている。しかし、そこは文化財包蔵地なので、まず調査が必要であり、県教委の文化振興課とも協議をしている。予定としては、来年四月以降試掘調査をしたい。今、地権者の協力を願えるよう話を進めている。
- 国分小学校の体育館の改築を早くしてほしい。建築する場合は社会体育にも役立つものを。
- 小学校で体育館がない学校が三校、老朽化が進んでいるのが二校ある。その一つに国府小も入っている。六十一年度は無理だが、六十二年度には改築したい。当然、社会体育にも利用できるものをと考えている。
- 市内には、寝たきり老人が何人おり、その福祉対策を伺いたい。移動入浴車の利用状況はどうか。
- 寝たきり老人は七十六人で、うち男性四十八人、女性二十八人となっている。特に介護が必要とする方には、四人のホームヘルパーがお世話している。そのほか、エアーマット、ベッド、ポータブルトイレなどの給付事業も行っている。家庭で看護している人で、どうしても家を空けなければなら

- いときは、短期保護の制度もある。移動入浴車の利用は現在七人で、平均して月に二回出勤している。
- 市の活性化にと、イベントを計画しているが、やはり継続してやっていけるものがよいと思うが、今までの進行具合は。
- 昨年の秋から、市観光協会の呼び掛けで、農協、商工会、婦人会など各種団体と話し合いを持ってきた。一応イベントの名称は「土佐のまほろばまつり」ということでまとまっている。先日、市内の青年団体との懇談会も開いた。やはり、若い人たちの盛り上がりが必要だ。
- そのほか、「国府川南岸の舗装を早くしてほしい」「排水路の整備を」「保育所の定員を見直してほしい」「養鶏場の公害問題解決を」「都市計画は、計画倒れにならないように」などの要望や意見が出ていました。

